

運用報告書 (全体版)

第3期<決算日2026年1月13日>

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投資/海外/資産割合/特殊型(案件付運用型)
信託期間	2022年12月30日から2028年1月11日までです。
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	ゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナルが発行する円建債券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>ゴールドマン・サックスが発行する円建債券¹⁾(以下、ゴールドマン・サックス社債)に高位に投資²⁾し、設定日から約5年後の満期償還時の当ファンドの償還価額³⁾について、元本確保をめざします。</p> <p>*1 ゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナルが発行し、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクによる保証が付されます。</p> <p>*2 満期まで保有することを前提とし、原則として銘柄入替は行いません。</p> <p>*3 ファンドは、信託期間約5年の単位型投資信託です。</p> <p>*4 投資する債券の発行体等が債務不履行となった場合等には、元本確保できない場合があります。信託期間中にファンドを解約した場合は、元本償還されなかった場合等には、解約価額や償還価額が元本を下回る場合があります。</p> <p>マクロアロケータ戦略指数の累積収益率により決定される実績連動クーポンと固定クーポンで構成されるゴールドマン・サックス社債の利息を獲得することをめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定クーポンは、每期一定水準支払われます。 ・実績連動クーポンは、ゴールドマン・サックス社債の満期時に元金と共に支払われます。 ・実績連動クーポンは、運用開始基準日(以下⁵⁾のマクロアロケータ戦略指数の累積収益率⁶⁾にほぼ連動する水準⁷⁾に決定します。 ・マクロアロケータ戦略指数は、米国のインフレーションと経済成長からなる景気局面を判定し、資産配分を行う計量モデルに基づき算出されます。 ・マクロアロケータ戦略指数は、米国内債指数先物、米国内債券先物、米国内物価連動国債、金先物およびコモディティ指数等で構成されます。 ・マクロアロケータ戦略指数は目標リスク水準を年率2%程度とします。 <p>※上記数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのみならずも約束するものではありません。また、上記数値はリスク水準の目標を表すものであり、年率2%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。</p> <p>*5 運用開始基準日は2023年1月4日です。</p> <p>*6 累積収益率は2027年12月14日に決定される予定です。</p> <p>*7 連動する水準は100%をめざしますが、ファンド設定時の市場環境等によっては100%を下回る場合があります。</p> <p>ゴールドマン・サックス社債の利息収入から諸コスト等⁸⁾を差し引いた分配原資のなかから、年1回の決算時に1万円当たり80円程度(課税前)⁹⁾の分配を行うことをめざします。</p> <p>*8 信託報酬およびその他の費用等です。</p> <p>*9 上記は有価証券届出書提出日(2022年11月15日)現在の市場環境等を前提とした委託会社の予想に基づく分配金(以下「予想分配金」といいます。)¹⁾であり、将来の運用の成果を示唆および保証するものではありません。分配原資となるゴールドマン・サックス社債の利息(固定クーポン)は、当ファンド設定日にゴールドマン・サックス社債の発行条件において決定されます。固定クーポンの利率は金利動向や発行体の信用力等の影響を受けるため、実際の分配金は予想分配金とは異なる可能性があります。</p> <p>※実績連動クーポンと第5期の固定クーポンに基づく収益は、分配金として支払われるのではなく、償還価額に含められます。</p>
組入制限	<p>株式の投資割合には、制限を設けません。</p> <p>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定しません。</p> <p>一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に對する株式等エクスポートジャー、債券等エクスポートジャーおよびデリバティブ等エクスポートジャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。ただし、ゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナルが発行する円建債券の投資割合には、制限を設けません。</p>
分配方針	<p>決算日(原則として1月10日、休業日の場合は翌営業日。)に、元金超過額または経費控除後の配当等収益のいずれか多い額の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p>

マクロアロケータ戦略指数参照型 ゴールドマン・サックス社債ファンド2022-12

愛称：おまもりOne 2022-12

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「マクロアロケータ戦略指数参照型ゴールドマン・サックス社債ファンド2022-12」は、2026年1月13日に第3期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				受 益 回 者 利	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	元 残 存 本 率
	(分配落)	税 込 配 分 金	期 騰 落 額	中 期 騰 落 率				
(設 定 日) 2022年12月30日	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期 (2024年1月10日)	10,140	80	220	2.2	2.1	99.9	-	99.0
2期 (2025年1月10日)	10,002	80	△58	△0.6	0.8	99.8	-	94.8
3期 (2026年1月13日)	10,047	80	125	1.2	0.9	99.7	-	90.7

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込みです。

(注3) 受益者利回りは基準価額の当初元本に対する年換算利回りです。

(注4) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注6) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額の推移

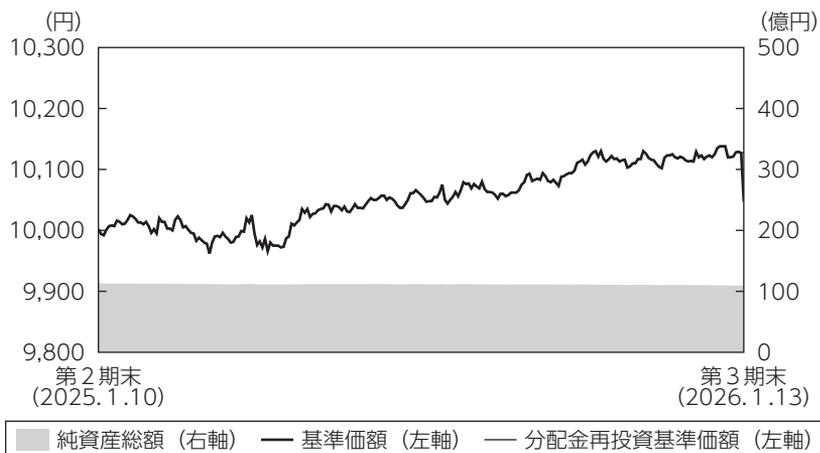
年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2025年1月10日	円 10,002	% -	% 99.8	% -
1月末	10,019	0.2	99.8	-
2月末	10,005	0.0	99.6	-
3月末	9,989	△0.1	99.6	-
4月末	10,011	0.1	99.7	-
5月末	10,039	0.4	99.4	-
6月末	10,037	0.3	99.4	-
7月末	10,056	0.5	99.4	-
8月末	10,062	0.6	99.5	-
9月末	10,089	0.9	99.2	-
10月末	10,115	1.1	99.2	-
11月末	10,123	1.2	99.3	-
12月末	10,120	1.2	98.8	-
(期 末) 2026年1月13日	10,127	1.2	99.7	-

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2025年1月11日から2026年1月13日まで）

基準価額等の推移



第3期首：10,002円
第3期末：10,047円
(既払分配金80円)
騰落率：1.2%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。お客さまの損益の状況を示すものではありません。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国の株式・債券市場などに投資するマクロアロケータ戦略指数が上昇したことなどから、投資対象であるゴールドマン・サックスが発行する円建債券（以下、ゴールドマン・サックス社債）の価格は上昇し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

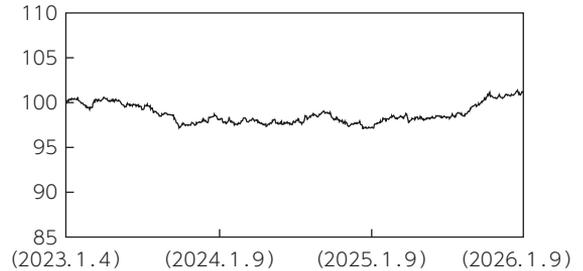
投資環境

株式市場は、米国の相互関税導入などを背景とした景気減速懸念などから急落する場面もありましたが、通期ではF R B（米連邦準備理事会）による利下げへの期待や、米政権による減税や規制緩和への期待などが意識され、株価は上昇基調で推移しました。債券市場は、F R Bによる利下げ観測などが意識され、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

ポートフォリオについて

ゴールドマン・サックス社債に高位に投資をしました。当ファンドが主として投資するゴールドマン・サックス社債の実績連動クーポンは、社債の満期時に元金と共に支払われ、運用開始基準日以来のマクロアロケータ戦略指数の騰落率（リターン）にほぼ連動して決まります。当指数は、運用開始基準日から2026年1月9日までの期間に約1.24%上昇しました。

<マクロアロケータ戦略指数の推移 (2023年1月4日～2026年1月9日)>



(注1) 運用開始基準日は2023年1月4日です。運用開始基準日を100として計算しています。

(注2) 上記グラフは、ゴールドマン・サックス証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。

○円建て債券の状況（2026年1月9日）

債券価格（円）	100.25
金利感応度*（円）	0.019
残存期間（年）	1.98
信用格付け	A

※金利感応度とは、0.01%の金利変動に対する債券価格の変動性を意味するものです。

- (注1) 金利感応度はゴールドマン・サックス証券株式会社から提供を受けたデータです。左記金利感応度には、マクロアロケータ戦略指数の金利感応度は含んでおりません。
- (注2) 信用格付けは、円建債券の保証体であるザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの発行体格付けを示しています。円建債券の債券格付け、または円建債券の発行体であるゴールドマン・サックス・ファイナンス・コープ・インターナショナルの発行体格付けではありません。格付投資情報センター（R&I）の情報を基に作成しています。
- (注3) 左記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

○マクロアロケータ戦略指数の資産配分（2026年1月9日）

対象資産	資産構成比率
米国株価指数先物	2.3%
米国債券先物	5.8%
米国物価連動国債	6.9%
金先物	6.3%
コモディティ指数	1.7%
合計	23.0%

- (注1) 左記は、ゴールドマン・サックス証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。
- (注2) 左記は、当ファンドの資産配分ではありません。
- (注3) 左記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

分配金

収益分配金につきましては分配方針に基づき、1万口当たり80円（税引前）とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

今後の運用方針

引き続き、ゴールドマン・サックス社債に高位に投資し、満期償還時の当ファンドの償還価額について元本確保をめざしつつ、ゴールドマン・サックス社債の利金収入から諸コスト等を差し引いた分配原資のなかから、年1回の決算時に分配を行うことを目指します。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	(2025年1月11日 ～2026年1月13日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	39円	0.386%	(a) 信託報酬＝期中の信託財産の元本×信託報酬率 期中の信託財産の元本は10,000円です。
(投信会社)	(17)	(0.165)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(19)	(0.187)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.004	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	39	0.390	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

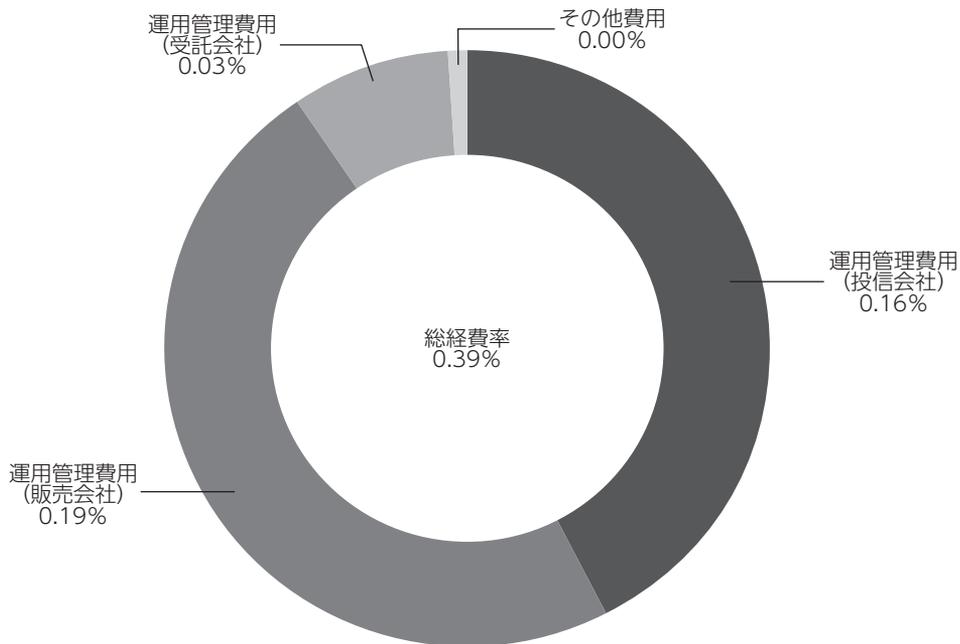
(注3) 期中の平均基準価額は10,055円です。

(注4) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.39%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2025年1月11日から2026年1月13日まで)

公社債

		買付額	売付額
国	内社債券	千円 -	千円 492,137 (-)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2025年1月11日から2026年1月13日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
普通社債券	10,808,900	10,835,922	99.7	99.7	-	-	99.7
合計	10,808,900	10,835,922	99.7	99.7	-	-	99.7

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、BB格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債銘柄別

銘柄	当 期		末	
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
	%	千円	千円	
(普通社債券) 5y Notes on GS Macro Allocator Series F Strategy 01/04/2028	0.0000	10,808,900	10,835,922	2028/01/04
合計	-	10,808,900	10,835,922	-

(注) 固定クーポンが支払われます。

■投資信託財産の構成

2026年1月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	10,835,922	98.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	149,056	1.4
投 資 信 託 財 産 総 額	10,984,978	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年1月13日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	10,984,978,693円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	149,056,443
公 社 債(評価額)	10,835,922,250
(B) 負 債	115,639,246
未 払 収 益 分 配 金	86,548,056
未 払 解 約 金	7,513,322
未 払 信 託 報 酬	21,357,640
そ の 他 未 払 費 用	220,228
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	10,869,339,447
元 本	10,818,507,074
次 期 繰 越 損 益 金	50,832,373
(D) 受 益 権 総 口 数	10,818,507,074口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	10,047円

(注) 設定年月日 2022年12月30日
 設定元本額 11,928,281,696円
 期首元本額 11,309,949,830円
 期末元本残存率 90.7%

■損益の状況

当期 自2025年1月11日 至2026年1月13日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	138,974,958円
受 取 利 息	134,945,580
そ の 他 収 益 金	4,029,378
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	637,920
売 買 損 益	1,117,040
売 買 損	△479,120
(C) 有 価 証 券 評 価 差 損 益	40,582,730
(D) 信 託 報 酬 等	△43,447,348
(E) 当 期 損 益 金(A+B+C+D)	136,748,260
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	2,212,629
(G) 解 約 差 損 益 金	△1,580,460
(H) 合 計(E+F+G)	137,380,429
(I) 収 益 分 配 金	△86,548,056
次 期 繰 越 損 益 金(H+I)	50,832,373

(注1) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 元 本 超 過 額	137,380,429円
(b) 差 引 配 当 等 収 益 額	95,527,610
(c) 受 益 権 総 口 数	10,818,507,074口
(d) 期 中 平 均 受 益 権 総 口 数	11,005,032,399
(e) 分 配 可 能 額	93,908,503円
(f) 分 配 金 対 象 収 益	137,380,429
(g) 1 万 口 当 たり 分 配 金 対 象 収 益	126.98
(h) 分 配 金	86,548,056
(i) 分 配 金 単 価	80

■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前） 80円

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

マクロアロケーター戦略指数参照型ゴールドマン・サックス社債ファンド2022-12（以下「当ファンド」）は、アセットマネジメントOne株式会社（以下「アセットマネジメントOne」）が設定・運用を行います。「ゴールドマン・サックス」は、Goldman Sachs & Co. LLC.（以下「使用許諾者」）の日本およびその他の国において登録された商標です。アセットマネジメントOneおよびその関連会社は、使用許諾者またはその関連会社・関係会社（以下「ゴールドマン・サックス」と総称）との間に資本関係はありません。ゴールドマン・サックスは、当ファンドの設定または販売に何らの責任も有しておらず、当ファンドの設定または販売にこれまで関与したこともありません。ゴールドマン・サックスは、当ファンドの受益者または公衆に対し、有価証券一般もしくは当ファンドへの投資の適否、当ファンドが一般市場もしくは指数実績を追跡する能力の有無もしくは投資リターンを提供する能力の有無に関して、明示的か黙示的かを問わず、いかなる表明または保証も行っておりません。使用許諾者とアセットマネジメントOneの関係は、当ファンドに関する使用許諾者の商標の使用許諾に限られます。参照戦略スポンサー（ゴールドマン・サックス・インターナショナル）およびそれらの関連会社は、マクロアロケーター戦略指数に関する品質、正確性および/または完全性について、何ら保証するものではありません。また、内容を制限することなく、いかなる場合においても、直接的、間接的、特別、懲罰的、派生的またはその他の損害（逸失利益を含みます。）について、契約、不法行為その他のいずれによるかを問わず、いかなる者に対しても何ら責任を負いません。

ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの詳細につきましては、以下をご覧ください。
<https://www.goldmansachs.com/investor-relations/index.html>